

環境ユニバーシティ

# 岐阜大学の取り組み

2023



MAKE NEW STANDARDS.  
東海国立  
大学機構



岐阜大学

# 環境ユニバーシティへようこそ

国立大学法人東海国立大学機構として、名古屋大学と法人統合し、3年がたちました。

岐阜大学は、東海国立大学機構が掲げる「Make New Standards for the Public」というミッションを共有し、その上で「学び、究め、貢献する」という本学の理念のもと、ビジョンを「地域共創、特色ある研究、イノベーション、教育を戦略的に推進し、地域と人類の課題解決に貢献する『地域活性化の中核拠点』となる」と定め、ビジョンを実現するための戦略を策定し、ステークホルダーのみなさんと一緒に新たな時代を切り開くことになりました。

2015年にパリ協定が採択され、日本は「2050年カーボンニュートラル達成」を目標とし、地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けての取り組みを進めています。

東海国立大学機構では、「2030年に温室効果ガス51%（2013年比）以上削減し、2050年までのできるだけ早い時期にカーボンニュートラル実現」の目標を掲げて、「カーボンニュートラル推進室」のもと、岐阜大学と名古屋大学の「知」を総動員して課題解決に取り組むとともに、社会と連携してカーボンニュートラル達成に向けて取り組んでいきます。

昨今は世界情勢に伴う燃料費の急激な高騰が続いています。岐阜大学では、「省エネアクト for ゼロカーボンキャンパス GU2023」のスローガンのもとに、取組重点事項を定め、省エネ・節電行動を推進しています。

本学は2009年に「環境ユニバーシティ」を宣言し、全学でISO14001を認証取得していますが、その運用に不可欠となる内部環境監査に学生も監査員として参画しています。これまで学生が自主的に内部環境監査員として参加していましたが、2023年より環境講義「マネージメント論（マネジメントシステムと監査）」を開講し、より多くの学生が内部環境監査へ参画できる体制を整えました。併せて、岐阜県と連携して運用する「次世代地域リーダー育成プログラム」に2021年より環境リーダーコースを新設し、自ら主体的に環境問題に取り組むことのできる人材を育成しています。教職員と学生の協働による自然環境保護活動も行われ、近年、学生の環境問題に関するモチベーションが高まっているのを感じます。

これまでの環境への取り組みが評価され、東海国立大学機構はサステナブルキャンパス賞2022 大学運営・地域連携部門の受賞に続き、2023年は地球環境大賞「文部科学大臣賞」を受賞することができました。私自身も、日経SDGsフェスにおいて、岐阜大学のSDGsの取り組み、環境の取り組みについて発信させていた

だきました。

みなさん一人一人が地球に目を向けて、カーボンニュートラル、環境問題について一緒になって考えてほしいと思います。大学としても環境に関する教育・研究のさらなる充実を図り環境課題の解決に貢献して参ります。

岐阜大学長  
最高環境責任者 吉田和弘





# 環境ユニバーシティ宣言をしています

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として2009年11月27日に「環境ユニバーシティ宣言」をしました。

## 岐阜大学環境方針

岐阜大学は、本学が掲げる理念を達成するとともに、「環境ユニバーシティ」としての取組みを継続発展させ、環境に配慮した大学環境を創り出すとともに、環境を担う優れた人材育成に努めます。

### 基本方針

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 教育・研究活動の環境侧面を常に認識し、環境影響を評価し、汚染の予防に努めます。
3. 省エネルギー、省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
4. 教育・研究に関わる順守義務の適合に努めます。
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. 教育・研究を通して、気候変動の緩和・適応及び生物多様性の保護に寄与します。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

2023年4月1日

岐阜大学長  
最高環境責任者

吉田 和弘



## 東海国立大学機構「環境報告書」の発行

岐阜大学、名古屋大学の情報を統合し、2冊目となる東海国立大学機構「環境報告書2022」を発行しました。当報告書では、機構長×学長×総長によるトップ鼎談、岐大生×名大生の対談や研究に関するクロスインタビューなどの企画を盛り込んでいます。

岐阜大学HPでも公開していますので、是非ご覧ください。

URL:[https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/houkokusyo/houkoku\\_2022.pdf](https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/houkokusyo/houkoku_2022.pdf)



# 環境ユニバーシティ

## ～環境への取り組みのあゆみ～



2003年	3月	地域科学部でISO14001認証取得
2006年	3月 9月 9月	環境対策室を設置 岐阜大学環境方針を制定 初の「環境報告書」発刊
2009年	7月 11月 11月 12月	流域水環境リーダー育成プログラム開講 <b>環境ユニバーシティ宣言</b> クリーンキャンパス開始 ISO14001認証範囲を大学本部、図書館へ拡大
2010年	11月	「環境ユニバーシティフォーラム」開始
2011年	10月 12月	学生によるISO14001内部環境監査の開始 ISO14001認証範囲を教育学部、附属小中学校へ拡大
2012年	4月 7月 10月 10月 12月	十六銀行と「環境保全」における連携に関する覚書」締結 十六銀行連携「省エネ啓発ポスター」募集、表彰を開始 「岐阜市環境活動顕彰」受賞 十六銀行と連携した環境対策活動が「節電・発電大賞」受賞 ISO14001認証範囲を医学系研究科・医学部、応用生物科学部へ拡大
2013年	4月 12月	全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」開講 ISO14001認証範囲に工学部が加わり、全学(附属病院を除く)で認証取得
2014年	6月	岐阜大学ブランドのミニラベルウォーター「のみやすい」発売開始
2015年	3月 3月 3月 4月 4月 6月 7月	FC岐阜と「環境保全」における連携に関する覚書」締結 「岐阜大学キャンパススマスター・プラン2015」策定 附属小中学校が「エコスクールコンテスト(岐阜市)」受賞 次世代エネルギー研究センター設置 地域減災研究センター設置 FC岐阜連携「岐阜うみプロジェクト」開始 十六銀行連携「エコがつながる種まきプロジェクト」開始
2016年	4月 11月	医学部附属病院においてESCO事業運用開始 ISO14001内部環境監査員養成研修修了証書授与開始
2017年	4月 8月 8月	「二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比40%以上削減」目標設定 集中講義「環境、CSR(企業の社会的責任)とマネジメント」開講 他大学との環境コミュニケーション「環境報告書の意見交換会」開始
2018年	7月 11月 11月 11月	地方創生エネルギー・システム研究センター設置 「eco-MASTER GRAND PRIX 2018 学生部門」入賞 「eco検定アワード2018」エコユニット部門「奨励賞」受賞 「サステナブルキャンパス賞2018 奨励賞」受賞
2019年	2月 7月 11月	サステナブルキャンパス評価システム(ASSC)におけるゴールド認定 サークル「ESDオリア」に「岐阜市制130周年特別感謝状」 「eco検定アワード2019」エコユニット部門「優秀賞」受賞
2020年	1月 2月 3月 4月 11月 11月	「環境ユニバーシティ宣言」10周年の記念植樹 第23回環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」受賞 第29回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞 岐阜県気候変動適応センター設置 「eco検定アワード2020」エコユニット部門「奨励賞」受賞 環境サークル「G-amet」が「サステナブルキャンパス賞2020 学生活動部門」受賞
2021年	2月 4月 11月 11月	第24回環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」受賞 次世代地域リーダー育成プログラムに環境リーダーコース新設 「eco検定アワード2021」エコユニット部門「大賞」受賞 脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター設置
2022年	1月 3月 4月 12月	環境サークル「G-amet」がASCN2021年次大会「金賞」受賞 サステナブルキャンパス評価システム(ASSC)におけるプラチナ認定 「二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比51%以上削減」目標設定 「サステナブルキャンパス賞2022 大学運営・地域連携部門」受賞
2023年	4月	第31回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞



2012.10 岐阜市環境活動顕彰受賞



2013.12 ISO14001登録証交付式



2015.06 岐阜うみプロジェクト



2016.11 ISO修了証書授与開始



2017.08 環境コミュニケーション



2020.01 「環境ユニバーシティ宣言」記念植樹



2021.11 eco検定アワード表彰式



2022.12 「サステナブルキャンパス賞2022 大学運営・地域連携部門」受賞



2023.4 第31回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞

# 環境に関する教育

## 次世代地域リーダー育成プログラム「環境リーダーコース」

地域協学センターが進める次世代地域リーダー育成プログラムに2021年度より「環境リーダーコース」が新設されました。岐阜の自然や環境学などを学ぶほか、企業や自治体と連携して地域社会における環境問題に対する取り組みを実践します。

様々な分野からみた環境問題を学ぶことを通して、次世代地域リーダーに必要な素養や能力を養うとともに、将来においても、自ら主体的に環境問題に取り組むことのできる人材を育成します。

環境リーダーコースにおいて選択必修科目となっている2科目を紹介します。

次世代地域リーダー育成プログラムの履修プロセス

「ぎふ次世代地域リーダー」称号授与

レポート・面接審査

上級段階

(30時間以上の地域協学センター・学部等との協働活動)

初級段階

(各指定科目や科目群から8単位以上習得)

地域リーダー  
コース 産業リーダー  
コース 教育リーダー  
コース 環境リーダー  
コース クローカル  
リーダー  
コース

対象学部 全学部 地域社会の環境問題においてリーダーシップを発揮し取り組むことができる人材を目指す!

## 全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」(前学期・後学期)

講義では地球が抱えている環境問題の現状や、環境マネジメントシステムの枠組み、環境負荷の分析評価から効果的な環境経営の手法を学びます。市役所や企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし、自治体や企業が取り組んでいる環境対策及びSDGsへの取り組みについて講義いただいたり、環境に配慮した設備の見学も実施しています。



岐阜市メガソーラー発電施設の見学

## 全学共通教育「環境、CSR(企業の社会的責任)とマネジメント」(集中講義)

現代社会において、生産活動を展開する企業は利益を追求するだけでなく、法律の遵守、環境への配慮、コミュニティへの貢献などが求められ、企業の社会的責任(CSR)が問われるようになりました。このことは、教育の現場である大学にとっても同様で、「教育・研究」「経済・財政」「環境・社会」の側面から「大学の社会的責任」(USR)が求められています。講義では「環境」の側面から、CSR、USRとマネジメントシステムについて事例を踏まえて理解することで、社会に出てからも様々な業務で学んだことを活かせるカリキュラムとなっています。



## 初年次セミナーにて環境講義を実施

環境マインドを持つ人材を育成するため、2021年度より新入生を対象とした初年次セミナーにおいて、環境配慮について学修する機会を設けることとし、環境講義を実施しています。講義では、環境問題を理解し、企業や大学に求められる社会的責任の知識を身につけるため、地球規模の「気候変動」をもたらし、自然環境や人の暮らしに大きな被害をもたらすと考えられている地球温暖化の仕組みの解説や本学の環境への取り組みを紹介しています。



# 環境マネジメントの取り組み

全学でISO14001:2015を認証取得しています! (附属病院を除く)

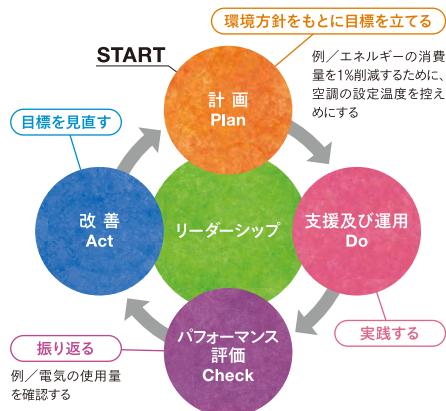


## ISO14001の認証取得とは?

国際標準化機構(ISO)が制定した、各組織(企業、大学等)が「環境マネジメントシステム」を構築するための基準です。各組織の「環境マネジメントシステム」がその基準にそって構築され、運用されていることを第三者の審査機関によって認められると認証取得となります。

## 環境マネジメントシステムとは?

大学の教育・研究活動を進めることによって生じる環境への影響を少なくするために、環境目標を設定し、その目標達成に向けて、環境配慮活動に取り組み、評価し、改善していくPDCAサイクルを基本とし、環境パフォーマンスを向上させるためにスピアラルアップによる継続的改善を目指す仕組みです。



## 大学の活動におけるマテリアルバランス (2022年度)



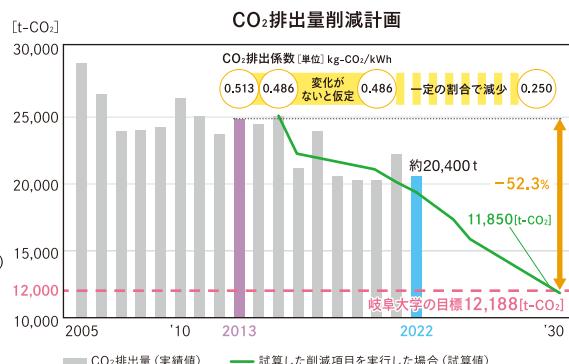
## 岐阜大学のエネルギーマネジメントの取り組み

目標 二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比51%以上削減します!



「省エネアクト for ゼロカーボンキャンパス」  
のもとに目標達成に向けて取り組んでいます

- 夜間・休日の消費電力の低減  
(帰宅時の電源OFFの徹底、24時間稼働機器の運転見直し等)
- 空調負荷の低減  
(電気ヒーターの利用制限、人数等に応じた適切な換気)
- クールビズ、ウォームビズの徹底
- 学生の省エネ意識の向上



# 環境配慮活動

## 学生による内部環境監査



ISO14001について研修を受けた学生たちが、職員とともに、本学の環境マネジメントシステムの取り組みについて、学生の視点から監査を行います。

2022年11月、学長より内部環境監査員養成研修修了証書が15名に授与されました。

## eco検定勉強会



「eco検定(環境社会検定試験)」とは、東京商工会議所が主催する、環境問題について幅広い基礎知識の習得を目指す検定です。環境問題に興味のある学生や教職員が集まり、勉強会を開催しています。2022年度は14名が合格し、優秀な成績をおさめました。

## 環境報告書学生編集委員会



「環境報告書」の作成において、学生編集委員会を立ち上げ、学生による誌面づくりを行っています。環境に関する研究を行っている研究室でのインタビュー記事やサークル紹介記事を執筆し、他大学と互いの「環境報告書」についての意見交換会を行っています。

## クリーンキャンパス



キャンパスの環境美化の取り組みの一環として、毎年2回(5月・11月)、全学で実施しています。また、キャンパス周辺のごみを拾う「大学周辺ゴミ0(ゼロ)活動」や特定外来生物「オオフサモ」駆除も行っています。





## チェックしてみよう!

チェック内容	チェック
エアコンの設定温度は控えめにしよう (室温の目安: 夏28°C、冬19°C)	
照明の使用を必要最小限にしよう	
部屋を最後に離れるときは、エアコン・ 照明をOFFにしよう	
ごみは分別して、ごみ箱に捨てよう	
リ・リパック※の回収に協力しよう ※生協で扱っているリサイクル可能なお弁当容器	
実験に使用した薬品は「実験廃液等の分別 貯留ポスター」に従って、適切に廃棄しよう	

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 持続可能な開発目標

「SDGs (Sustainable Development Goals)」とは、  
2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標です。  
本学では目標の達成に向け積極的に取り組んでいます。

※関連する取り組みにアイコンを記載しています。

ISO14001の活動を一緒にしてくれる学生を募集しています。

環境活動に興味のある人は、右のQRコードまたは  
下記のお問い合わせ先にご連絡ください。



### お問合せ先

岐阜大学環境対策室（施設統括部環境安全課）

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL:058-293-2118 MAIL:iso\_ems@t.gifu-u.ac.jp  
<https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/>